

2. 教員共同研究報告（研究会費）

奈良における自律的コミュニティの形成に向けた アクション・リサーチ

佐藤 由美

梅田 直美

1. はじめに

現在、奈良県では少子高齢化・人口減少の進行により、地域活力の維持や向上が課題となっている地区も多いが、開発可能性の低い一般的な住宅市街地においては特に、地域住民一人ずつの力を最大化し、それをつなげるような内発的な活性化が求められる。

本研究では、昨年度の佐藤・梅田による研究会共同研究¹の成果を活用・発展させ、一般的な市街地において、住民等が主体的に活動する「自律的コミュニティの実現」の端緒となる活動を試行し、具体の課題の抽出を行っていくものとする。昨年度は、奈良市と桜井市を対象に、自律的コミュニティ形成を行う主体として、自治会等の「地縁型組織」と、NPOやボランティア団体等の「テーマ型組織」を採り上げ、その連携の実態や課題を4種類のアンケート調査をもとに明らかにした。それらの課題のうち、本研究では、「交流機会の創出」に着目し、自律的コミュニティ形成に向けた連携・協働の基盤となる「場づくり」の準備段階から実践に至るプロセスの記録と分析（アクション・リサーチ）を行う。なお、本研究では、計画市街地（奈良市・富雄団地）と一般市街地（桜井市・本町通）を研究対象とし、それぞれの地区の特徴把握のもと、地域との協働による「交流の場」づくり活動の課題等について考察を行うものとする。

2. 計画市街地（奈良市）での活動

2-1 地区の特徴（富雄団地）

(1) 概要

調査対象地は、昭和40年代初頭に日本住宅公団（現・都市再生機構）により開発された奈良市西部の住宅地に位置する大規模賃貸住宅団地（全1,664戸）である。近年の人口減少や高齢化、小世帯化や商業施設の撤退等、地区が大きく変化し、近隣と関わりを持たない居住者の問題が大きくなりつつある。しかし、地域活動は活発で、奈良市委託事業「安心生活創造推進事業」のモデル地区として、奈良市社会福祉協議会が主となり、平成27年度から「いいばしょプロジェクト」が始まっている。



図1 富雄団地位置図

¹「奈良県における少子高齢化に対応した自律的コミュニティの形成に向けて」奈良県立大学研究報告 Vol.7

(2) キーパーソン調査の実施 表1 富雄団地・キーパーソン調査(調査対象者・調査項目)

地区の特徴や各種活動団体（地縁型・テーマ型等）の実態や関係性を把握するため、地域コミュニティにおけるキーパーソン（自治会・地域福祉関係者、社会福祉法人・団地管理・事業者等の担当者）を対象に、インタビュー調査を行った（表1）。

把握した各組織・機関などの役割・活動状況をもとに、相互の関係を整理すると、図2のようになる。

種類	調査対象者（団体・機関） （調査日）	調査項目
地縁	富雄団地自治会・喜楽会（老人会）〈H27.6.11〉	1. 富雄団地の生活 2. 自治会の概要 3. 喜楽会の概要
テーマ	鳥見地区社会福祉協議会〈H27.7.20〉	1. 協議会の概要 2. 活動内容 3. 今後の課題
専門	社会福祉法人協同福祉会：あすならホーム富雄〈H27.9.10〉	1. あすならホーム概要 2. 地域の高齢者対象の活動 3. 高齢者向け住宅（CO楽暮）
専門	都市再生機構西日本支社〈H27.12.14〉	1. URが進める地域医療福祉拠点の形成に向けた取組み 2. 富雄団地の今後の展開
中間	奈良市社会福祉協議会〈H27.4.23〉	1. 現在の富雄団地周辺の動き 2. 団地内のコミュニティ空間 3. 居住を支援する機関 4. 今後の課題

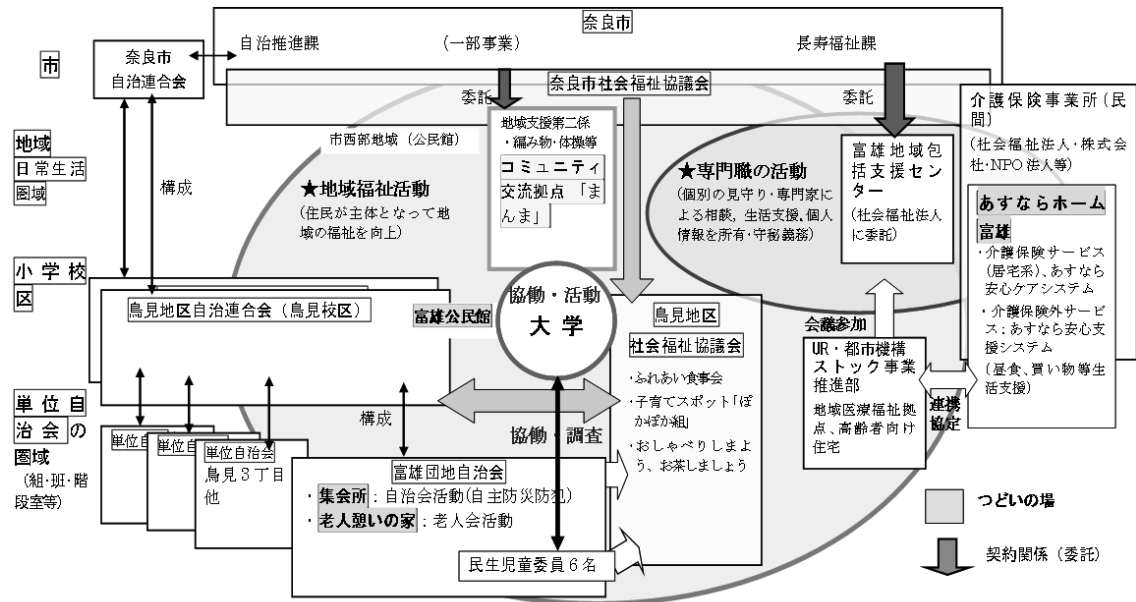


図2 富雄団地をめぐる地域福祉活動の状況と大学の位置づけ

2-2 交流の場づくりプロジェクト

平成27年4月から奈良市社会福祉協議会が主催する「いいばしょプロジェクト」に共催し、専門ゼミ活動として調査を開始した。このプロジェクトは、旧・幼稚園の職員室をリノベーションし、誰もがいつでも立ち寄ることができる“まんま”と名付けられた「居場所」をつくり、地域の交流拠点としていく事業である。その場を借りて、平成27年9月～平成28年2月まで、合計6回、佐藤専門ゼミ生が企画し、学生の出身地をテーマとした料理を調理して約300円程度で提供する「ご当地カフェ」を開催した。主なターゲットは、ひとり暮らし等の団地居住高齢者であり、毎回、25～45名程度の方（第2回は約200名）が来場した。



図3 ご当地カフェの様子

3. 一般市街地（桜井市）での活動

3-1 地区の特徴（本町通）

(1) 概要

調査対象地は、桜井駅南口に近接する旧街道沿いの歴史ある商店街を中心とした地区である。商業環境の変化から閉店する店舗も多く、それと同時に住民の交流機会・場が失われつつある。近年、アーケードの撤去により、空き地に住宅立地が進んでいる。なお、本町通を含む桜井駅南口地区は、平成 27 年度中に、桜井市「桜井駅周辺地区まちづくり基本構想」を定める予定で、官民が一体となったまちづくりが推進されている。



図 4 本町通の街並み

(2) キーパーソン調査の実施

地区の現状や地域活動（地縁型・テーマ型等）の特徴を把握するため、キーパーソン（自治会・まちづくり団体・組織等の担当者）を対象に、インタビュー調査を行った。その結果、各活動の実態や地区内における活動は、区等の小単位で行われており、本町通としての活動は「桜井本町通および周辺地区まちづくり協議会（以下、まちづくり協議会）」が主催するものが主であること等を把握した。

表 2 本町通・キーパーソン調査（調査対象者・調査項目）

種類	調査対象者（団体・機関） （調査日）	調査項目
地縁	桜井区自治協議会会長、 評議員 〈2015.9.8〉	1. 桜井区自治協議会のエリア・組織 2. 自治会活動等の実態
テーマ	桜井本町通および周辺地区 まちづくり協議会 〈2015.5.14〉 会長 〈2015.6.24〉	1. 協議会の組織としての特徴 2. 協議会の活動拠点：たまり場 3. 本町通の課題 4. 空き店舗の活用
テーマ	子ども読未知 〈2015.7.3〉	1. 子ども読未知の組織としての特徴 2. 子ども読未知の活動
テーマ	理学療法士 中川征士さん 〈2015.6.26〉	1. 暮らしの保健室とは 2. 暮らしの保健室の活動内容
中間	桜井市社会福祉協議会 〈2015.7.3〉	1. 桜井市の地域福祉体制

3-2 交流の場づくりプロジェクト

学生の活動は、佐藤専門ゼミ・梅田専門ゼミの合同ゼミ活動として、平成 27 年度桜井市市民協働推進事業への応募（5 月）から始まった。提案は、子育て世帯の地域交流実態調査、子育て世帯等を対象とした「ふれあいカフェ」、地域住民向けのマップ作り等で、新たな交流拠点として商店街の空き店舗を活用した「ほっとスペース」で、計 6 回のイベントを開催した。例えば、10 月のハロウィンスタンプラリーは、10 か所以上の商店の協力を得て、約 50 名の子どもたちが元気に町を歩き、商店の方たちと交流を図り、好評であった。



図 5 ほっとスペース外観



図 6 ハロウィンイベントの様子

4. アクション・リサーチの実施と課題

2 つの調査対象地区で地区課題の確認から地域との協働による「居場所＝交流の場」づくりを試行した。

計画市街地（奈良市富雄団地）では、地域の各団体の位置づけ・役割が明確なため、学生はまず住民主体の行事（自治会や地区社会福祉協議会主催）に参加し、協働を実践した。それにより、地域との接し方や活動の進め方等の学習、「ご当地カフェ」の広報等を行った。また、「ご当地カフェ」来場者への調査票を用いたインタビュー調査や、団地に居住するひとりぐらし高齢者へのアンケート調査も並行して実施し、活動の必要性や成果・課題を確認した。一方、一般市街地（桜井市本町通）では、まちづくり協議会等の支援のもと、活用できる空き店舗を確保した後、清掃や広報、試行等、イベント準備のために、「ほっとスペース」には学生がのべ20回程度訪問し、活動を行った。その姿を見て、通りを通行する地域の方から声をかけられる等の自然な交流が生まれた。さらに、ほっとスペースに掲示する昔の写真や食器等の提供も受け、親子のリピーターも増えていった。

両活動はいずれも5～6カ月間程度だが、「居場所」が地域の方に認知されるようになった。しかし、安定した来場者を確保するための広報力の強化（既存の地域住民向け情報ツールの活用）、毎回、イベントの際に実施した調査の活動内容改善へのフィードバック、活動時間が限られる学生と地域の方との定常的な「居場所」づくりに向けた協働体制の構築、学生交通費や活動資材費等への活動基盤の整備と活動継続への支援等の課題があり、今後、さらに検討することが求められる。

表3 両地区の活動の経緯・内容

計画市街地（奈良市）・活動内容 ★大学主催イベント、【】実施主体、*大学側参加者	場所	月	一般市街地（桜井市）・活動内容 ★大学主催イベント、【】大学以外の実施主体、*大学側参加者	場所
4/23 学生への概要の説明【奈良市社協・大学】*専門ゼミ学生12名	奈良市社協	H27年4月		
5/13 富雄団地地域ケア会議【富雄地域包括支援センター】*教員	奈良市社協	5月	桜井市市民協働推進補助金プレゼンテーション【桜井市】*学生4名・教員	桜井まほろばセンター
6/6 わくわくフェスタ【鳥見地区社協】*学生3名	あひる公園	6月		
6/9 いいばしょプロジェクト会議(1)【奈良市社協】*学生2名	"まんま"			
6/11 ふれあい食事会【鳥見地区社協】*学生2名	富雄公民館			
★6/28 いいばしょプロジェクト会議(2)【奈良市社協】「ご当地カフェ」のプレゼンテーション*学生4名・教員	"まんま"		6/24 空き店舗の活用に関する所有者との打合せ*学生1名・教員	
7/16 ふれあい食事会【鳥見地区社協】*学生2名	富雄公民館	7月	7/18,19,8/3,13,15,16,18 第1回イベントの準備*学生のべ44名	ほっとスペース
7/19 鳥見ふるさと夏祭り*学生4名	鳥見小学校			
8/21 ふれあい食事会【鳥見地区社協】*学生2名	富雄公民館	8月	★8/20 第1回イベント「木工モビールを作ろう」*学生11名	地域サテライト、空き家
			8/21 第2回イベント実施に向けた「竹の國」との協議*学生3名	
9/19 ふれあい食事会【鳥見地区社協】*学生1名・教員	富雄公民館	9月	9/4 第2回イベントの材料入手*学生4名	ほっとスペース
★9/26 第1回ご当地カフェ【奈良市社協・大学】*学生10名・教員	"まんま"		9/10,15,19 第2回イベント準備*学生のべ9名	
			★9/20 第2回イベント「ほっとカフェ」*学生8名・教員	
		9/30 「ソラほんまちフェスタ」模擬店出店者説明会【まちづくり協議会】*学生3名	たまり場	
10/4 秋の集い【奈良市社協・鳥見地区社協】ふらっと3周年、鳥見地区社協30周年記念イベントへの協力	"まんま"	10月	10/3 第3回イベント準備*学生7名	ほっとスペース
★第2回ご当地カフェ*学生7名・教員			★10/4 第3回イベント「ハロウィーン（ワッペン作り）」*学生9名・教員	
10/10 団地お茶会【富雄団地自治会自主防災防犯会】*学生1名・教員	富雄団地集会所		10/24 第4回イベント準備*学生11名	
10/16 ふれあい食事会【鳥見地区社協】*学生2名	富雄公民館		★10/25 第4回イベント「ハロウィーンスタンプラリー」*学生10名・教員	
11/1 鳥見小学校50周年記念祭*学生2名	鳥見小学校	11月	11/2,17 「ソラほんまちフェスタ」模擬店出展者会議【まちづくり協議会】*学生のべ5名	たまり場
★11/14 第3回ご当地カフェ【奈良市社協・大学】*学生12名・教員	"まんま"			11/21 「ソラほんまちフェスタ2016」模擬店開催【まちづくり協議会】*学生15名・教員
12/5 第4回ご当地カフェ【奈良市社協・大学】*学生12名・教員	"まんま"	12月	12/12 開催イベント準備*学生8名	ほっとスペース、市立図書館
			★12/13 第5回イベント「塩雪だるま作り」*学生8名・教員 12/25 クリスマスコンサートへの参加・協力【子ども読書会】*学生1名・教員	
★1/23 第5回ご当地カフェ【奈良市社協・大学】*学生9名・教員	"まんま"	H28年1月	1/16 第6回イベント準備*学生8名	ほっとスペース
2/20 奈良県立大学研究活動報告会 兼	"まんま"	2月	★1/17 第6回イベント「アイロンビーズ」*学生11名	市民活動交流拠点
★第6回ご当地カフェ【奈良市社協・大学】(予定)	(予定)		★2/11 平成27年度コミュニティデザインコンゴジウムにて、研究・活動成果を報告(予定)	